

平成 22 年 3 月の地震活動及び火山活動について

○ [地震活動]

3 月 14 日 17 時 08 分に福島県沖で M6.7 の地震が発生し、福島県^{ならはまち}楢葉町で最大震度 5 弱を観測しました。国土地理院の GPS 観測結果では、この地震に伴うわずかな地殻変動が観測されました。

全国で震度 1 以上を観測した地震の回数は 104 回、日本及びその周辺における M4.0 以上の地震の回数は 99 回でした。

その他、国土地理院の GPS 観測結果では、豊後水道でのプレート間のゆっくり滑り（スロースリップ）現象に伴う地殻変動が見られます。それ以外は特に目立った変動は見られません。

震度 3 以上を観測するなどの主な地震活動の概況は別紙 1 のとおりです。また、世界の主な地震は別紙 2 のとおりです。

○ [火山活動]

霧島山（新燃岳）では、30 日にごく小規模な噴火が発生し、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があるとして判断して、火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）を発表し、噴火警戒レベルを 1（平常）から引き上げました。

2009 年 6 月下旬以降活発化した桜島の噴火活動は、同年 10 月頃から更に活発となっており、昭和火口では噴火の多い状態が続いています。国土地理院による GPS 連続観測では、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の膨張による変化が引き続き観測されていますが、2010 年初め頃から桜島島内においても伸びが観測されています。今後、更に火山活動が活発化する可能性が高いと考えられますので、火山活動の推移に注意する必要があります。昭和火口及び南岳山頂火口から 2 km 程度の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。桜島では、火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）が継続しています。

浅間山では、火山性地震は引き続きやや多い状態で推移しています。火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）が継続しています。

三宅島では、多量の火山ガスの放出が続いています。火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）が継続しています。

諏訪之瀬島では、噴火が断続的に発生しました。火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）が継続しています。

その他の火山の活動状況に特段の変化はありません。

日本の主な火山活動の概況は別紙 3 のとおりです。また、世界の主な火山活動は別紙 4 のとおりです。

注 1：噴火警戒レベルには、レベル毎に防災機関等の行動がキーワードとして示されており、導入にあたっては、噴火警戒レベルの活用が地域防災計画等に定められることが条件となります。

注 2：国土地理院の GPS による地殻変動観測については、国土地理院ホームページの記者発表資料「平成 22 年 2 月の地殻変動について」を参照願います。

<http://www.gsi.go.jp/WNEW/PRESS-RELEASE/2010-goudou0408.html>

注 3：気象庁の地震活動資料には、気象庁、防災科学技術研究所及び大学等関係機関のデータが使われています。

注 4：地震活動及び火山活動の詳細については、地震・火山月報(防災編)平成 22 年 3 月号（平成 22 年 4 月末頃に刊行及び気象庁ホームページ掲載予定）をご覧ください。

注 5：平成 22 年 4 月の地震活動及び火山活動については、平成 22 年 5 月 11 日に発表の予定です。